

学位論文に係る評価基準

経済学研究科

【前期博士（修士）】

・一般コース

修士論文は、一般ならびに専門的教養の基礎の上に広い視野に立って専門分野を研究し、精深な学識と研究能力をもって作成しなければならない。修士論文の審査は、当該専門分野にかかわる論理性、一貫性、明確性、実証性、独自性を基準にして行われる。

・修士専修コース

修了論文は、指導教員の指導のもとで、一般的教養の基礎の上に広い視野に立って研究し、高い研究能力をもって作成しなければならない。修了論文の審査は、当該専門分野にかかわる論理性、一貫性、明確性、実証性を基準にして行われる。

【後期博士（博士）】

・博士の学位は、専門分野について研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を有する者に授与される。博士論文の審査は、当該専門分野にかかわる論理性、体系的、厳密性、明確性、実証性、独創性を基準にして行われる。